

令和5年度 第3回 浜松中部学園運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年12月12日（火） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松中部学園 会議室
- 3 出席委員 齋藤 正、村井 秀行、藤野 直也、神村 佳宏、木村 勝  
鈴木 康子、成瀬 仁代、大石 将和、鳥居 浩幸
- 4 欠席委員 三浦 一哲、広瀬 恵子
- 5 学校支援コーディネーター 櫻井 康人
- 6 学 校 鈴木 伯（校長）、星宮 ちさと（教頭）、袴田 暁広（教頭）  
山田 亘（主幹教諭）、井上 佐矢子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍聴者 2人
- 9 会議録作成者 CSディレクター 井上 佐矢子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、村井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

特色を生かした学校づくり

12 会議記録

司会から、委員総数11人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

「特色を生かした学校づくり」について

グループに分かれ、特色を生かした学校づくりについて、本校の実態をSWOT分析にてそれぞれの意見や考えを出し合い協議し、発表をした。

SWOT分析

Strength（強み）Weakness（弱み）Opportunity（機会）Threat（脅威）の4つのカテゴリーを視点にして行う事業計画の現状分析を学校経営にあてはめて熟議。

【Bグループ：村井委員、神村委員、成瀬委員、櫻井コーディネーター、星宮教頭】

S（強み→本校や本校児童・生徒の長所や得意とするところ。内部環境のプラス要素。）

- ・小中一貫校なので、小学生は中学生とふれあう機会があり、モデルが身近にある。
- ・中学生は小学生との交流によって、思いやりの心を育む機会になっている。
- ・6年生から中学に上がる際の壁が低くなる。

W（弱み→本校や本校児童・生徒の短所や苦手とするところ。内部環境のマイナス要素。）

- ・年齢差がある為、運動会等の行事が一緒にできない。
- ・生徒数の少なさ。

- ・あいさつ等、積極性に欠ける。
- ・敷地等の問題から、施設・設備が足りない。

0(機会→本校や本校の児童・生徒にとってプラスに働く外部環境のプラス要素)

- ・外部の人材が豊富で、協力体制が整っている。
- ・美術館や図書館、市役所等校外学習がしやすい施設が充実している。
- ・中心部にあることで、様々な情報を得るチャンスが多くある。

T(脅威→本校や本校の児童・生徒に悪影響を及ぼすと考えられる外部環境のマイナス要素)

- ・周辺の交通量が多く、事故の心配がある。
- ・市街地に近いため、自然に接する機会が少なく、運動不足になりやすい。
- ・街中の娯楽施設で遊ぶ機会が多くなる心配。

その他報告事項

司会から、次回会議は、2月20日(火)に開催する旨の報告があった。